学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 保健体育科

科目名 ：	保健	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 2 回
使用教科書 ：高等学校 改訂版 保健体育 （第一学習社）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	3 回	2 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）	１・３範囲 再テスト有			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

＊レポートは、空欄があると再提出になります。教科書をよく読み、すべて記入してから提出するようにして下さい。
＊スクーリングは、レポートで扱う内容をより深く学習できるよう講義します。
＊テストは、１・２範囲に実施し、レポートの内容から出題されます。

2 学習の到達目標

個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	c ：知識・理解
観点の趣旨	・保健を学ぶ意義に気づき、保健に対する関心を高め、主体的に学習に取り組むことができる。 ・保健を学ぶ中で、社会を形成していく当事者としての自覚をもって考える態度を身につけている。	・保健を様々な要素と関連付けて、多角的、多面的に考察できる。 ・保健を学ぶための諸資料から、有効な情報を適切に読み取ることができる。	・保健を日常生活と関連付けながら理解できる。
評価方法	記述の点検 （レポート）	記述の点検 （レポート）	記述の点検 （レポート） 定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1範囲	現代社会と健康	・健康の考え方 ・健康の増進と病気の予防 ・精神の健康 ・交通安全 ・応急手当	○	○	○	a:我が国の疾病構造や社会の変化について学ぶ意義に気づき、主体的に学習に取り組むことができる。 b:我が国の疾病構造や社会の変化を様々な要素と関連付けて、多角的、多面的に考察できる。 c:健康を保持、増進するためには一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解し、知識が身についてる。	・レポート ・定期考査
2範囲	生涯を通じる健康	・生涯の各段階における健康 ・保健、医療制度と機関	○	○	○	a:生涯に各段階において健康についての課題及び我が国の保健・医療制度や機関について学ぶ意義に気づき、主体的に学習に取り組むことができる。 b:生涯に各段階において健康についての課題を様々な要素と関連付けて、多角的、多面的に考察できる。 c:生涯の各段階と健康のかかわりを踏まえて、場面に応じた適切な意思決定や行動選択が不可欠であることを理解し、知識が身についている。	・レポート
3範囲	社会生活と健康	・環境と健康 ・環境と食品の健康 ・労働と健康	○	○	○	a:社会における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることに気づき、主体的に学習に取り組むことができる。 b:環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策を様々な要素と関連付けて、多角的、多面的に考察し、適切な表現を用いて文章を書くことができる。 c:環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策の整備などに関して理解し、知識が身についている。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断　　c ：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。